



2016年5月17日
JR東日本秋田支社

新型リゾートしらかみ「樺」編成の概要について

- 乗ってみたいローカル線として全国的に人気を集める五能線に、6年ぶりに新型車両「新型リゾートしらかみ『樺』編成」を投入します。
- 「新型リゾートしらかみ『樺』編成」は、環境に優しいハイブリッドシステムを搭載した最新鋭車両です。樺の木立ちをイメージした外観が特徴で、内装には五能線沿線のシンボルである樺や杉などの木材をふんだんに使用しました。
- 3号車には新たに「ORAHO」カウンターを設け、沿線の“うまいもの”、地酒など地産品を販売します。また、新たな車内イベントとして、青森県中泊町の無形民俗文化財「津軽伝統 金多豆蔵人形芝居」を実施します。
- 「新型リゾートしらかみ『樺』編成」は2016年7月16日(土)から営業運転を開始します。

1 車両の概要

(1) 外観コンセプト

樺(ブナ)の木立ちをグラデーションで表現し、ナチュラルなグリーンの濃淡で優しい木漏れ日を感じさせるデザインとしました。



【外観】

デザインは「KEN OKUYAMA DESIGN」
(代表：奥山清行氏)が担当しました

(2) 内装コンセプト

雄大な白神山地や夕日の沈む日本海などの美しい風景を、車内から楽しめる開放感のある空間としました。内装材には、沿線のシンボルである樺や杉などの木材をふんだんに取り入れ、沿線の大自然を身近に感じていただくと同時に、温かみと安らぎを演出します。

- 天井や床などに「秋田産の杉」、ORAHOカウンターなどに「青森ヒバ」、シンボルツリー(1・3・4号車へ設置)に「秋田産・青森産の樺(ブナ)」を使用しています。
- 展望室では秋田県・青森県産のスツールを使用します。

(3) 車両の特徴



1号車

2号車

3号車

4号車

① 1・4号車(シートデザイン)

シートは、東北の夏祭りをイメージしたデザインとしました。

1・4号車に設置の展望ラウンジは、青森・秋田県産の工芸品(ブナコや秋田木工)やシンボルツリーで非日常空間を演出します。新たな車内イベントのスペースとして多目的に使用します。



【1・4号車】

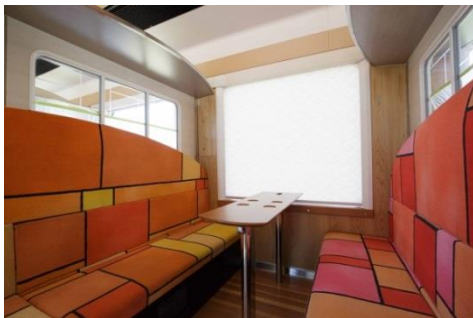
② 2号車 (ボックス席)

従来よりさらに開放感や展望性を高め、明るいイメージにしました。各ボックスにはブナコ製の照明を備え付けます。

③ 3号車 (「ORAHO」カウンター)

新たに「ORAHO」カウンターとシンボルツリーを設け、沿線の地産品をお楽しみいただける空間にしました。

【2号車 (ボックス席)】



【3号車 (「ORAHO」カウンター)】



※車両の画像はすべて製作中のものです。(5月13日現在)

2 新たなサービスの概要

(1) 「ORAHO」カウンター

地酒やスイーツなど沿線の“うまいもの”を販売し、車内で景色をご覧いただきながらお召し上がりいただけます。「ORAHO」カウンターは、「五能線のもの」を扱う“のもの”コーナーとして、リゾートしらかみと首都圏“のもの”ショップをつなぐ相互情報発信を行います。

※“のもの”とは、東日本の各地の食を中心に地域の魅力を紹介する地産品ショップです。

[主な販売商品]

- ① 地酒 青森県西海岸唯一の酒蔵である尾崎酒造(鱒ヶ沢)の「吟醸 斜陽館」、弘前で14代続く造り酒屋・丸竹酒造(弘前)「大吟醸 白神ロマンの宴」などを販売します。
(サーバーによるワンショット販売)
- ② コーヒー 白神山地から湧き出た自然水で入れたコーヒーを提供します。
- ③ お土産 青森産「ふじ」をシロップに漬け、まるごとパイで包んだアップルパイ「気になるリンゴ」や、鱒ヶ沢でブサ可愛いと人気の「わさお」のグッズなどを販売します。

【大吟醸白神ロマンの宴】



【吟醸斜陽館】



【気になるリンゴ】



【わさおつみぐるみ】



※画像はイメージです

(2) ふれあい販売（仮称）

カウンター販売のほか、地元の方が乗り込んでの販売も行いますので、触れ合いながら五能線の魅力をお楽しみいただけます。（販売日・区間限定）

昨年7月から地元観光協会等と連携して試行してまいりましたが、お客さまにご好評をいただいているため本実施します。

〔販売区間及び販売商品・販売日〕…リゾートしらかみ1号・2号での販売

- ① 十二湖駅⇄ウェスパ椿山駅 マグカツドック（土・日曜日）
- ② 深浦駅⇄鱒ヶ沢駅 ごへい餅、串だんご（日曜日）
- ③ 能代駅⇄深浦駅 バスケットのお菓子セット、秋田杉の木工品（金・土・日曜日）

※その他に、「北海道新幹線開業記念大人の休日パス」利用期間の8/29～9/7は上記に限らず、販売する予定です。

【マグカツドック】



【ごへい餅】



【串だんご】



【バスケットのお菓子セット】



【木工品】



※画像はイメージです

(3) 車内イベント「津軽伝統 ^{きんたまめじよ} 金多豆蔵人形芝居」

青森県中泊町の無形民俗文化財「津軽伝統 ^{きんたまめじよ} 金多豆蔵人形芝居」は「金多」と「豆蔵」による掛け合い漫才の他、津軽民謡にあわせた人形の手踊りや、津軽の風俗や社会の世相を取り入れるなど、バラエティに富んだ内容の人形芝居です。

① 上演列車

リゾートしらかみ1号 1号車（五所川原駅～弘前駅間）

リゾートしらかみ4号 4号車（新青森駅～弘前駅間）

② 上演日

弊社ホームページやパンフレットなどで、後日お知らせいたします。

【^{きんたまめじよ}金多豆蔵人形芝居】



※画像はイメージです

3 営業運転開始について

(1) 営業運転開始日

2016年7月16日(土)

(2) 営業運転開始列車

リゾートしらかみ1号（秋田駅8:20発、青森駅13:30着）

リゾートしらかみ4号（青森駅13:51発、秋田駅18:56着）

※リゾートしらかみ1号の秋田駅発車時及びリゾートしらかみ4号の青森駅発車時では出発式を予定しています。詳細は決まり次第お知らせいたします。

別紙

◆現行と新型ゾートしらかみ「樺（ブナ）」の比較

	現行リゾートしらかみ 「樺（ブナ）」編成（キハ40系）				新型リゾートしらかみ 「樺（ブナ）」（HB-E300系）			
構成	4両編成				4両編成			
定員	143名（座席79名、半個室4名×16=64名）				142名（座席106名、半個室4名×9=36名）			
主な 設備	1号車	2号車	3号車	4号車	1号車	2号車	3号車	4号車
	座席	ボックス席	ボックス席	座席	座席	ボックス席	座席	座席
	展望室 イベントスペース			展望室 イベントスペース	展望室 イベントスペース シンボルツリー		おらほ ORAHO カウンター シンボルツリー	展望室 イベントスペース シンボルツリー
	車内案内表示器なし				車内案内表示器あり			
	液晶表示器なし				液晶表示器あり			
	蛍光灯				LED照明			
動力	液体式ディーゼルエンジン				ディーゼルハイブリッドシステム ※			

※ハイブリッドシステムとは、車両の状況に応じて、ディーゼルエンジンとリチウムイオン蓄電池を組み合わせ、駆動力に電気モーターを使用します。発車時は蓄電池充電電力を使用し、加速時はディーゼルエンジンが動作して発電機を動かし、蓄電池電力と合せてモーターを回転させます。減速時はモーターを発電機として利用し、ブレーキエネルギーを電気に変換して蓄電池に充電するシステムです。